# 愛知東邦大学 シラバス

| 開講年度(Year) | 2025年度 | 開講期(Semester) | 前期 |
|---|---|---|---|
| 授業科目名(Course name) | 文学 | | |
| 担当者(Instructors) | 山田 幸代 | 配当年次(Dividend year) | 1 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 選択 |

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

文学についての総合的な理解を目的とする。まず、世界文学史的な視点から文学の成り立ちと諸ジャンルについての解説をおこない、文学の基礎的な情報を伝達する。続いて、現代文学を具体的な題材として用いながら、文学作品に対する様々なアプローチ法を紹介する。各アプローチ法については、言語論に始まり、物語論、テーマ論、作家論といったベーシックなものから、精神分析学的批評やジェンダー・セクシュアリティ批評やポストコロニアル批評といった最新のものにいたるまで、包括的な紹介をおこない、文学および研究の奥行きと可能性を示す。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

| 授業形態(Class form) | 講義 |
|---|---|
| 授業の方法(Class method) | Microsoft Teamsを使ったリアルタイムのオンライン授業のため、時間割で指定された時間に出席できるよう各自で環境を確保すること。授業では、スライドを画面共有して講義を行う。理解を助けるため、適宜映像資料を紹介する。 |

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---|---|---|---|
| 第1回 | 「文学」とは何か | 授業に関するイントロダクション | □ |
| 第2回 | 吸血鬼物語の構造 | 『吸血鬼ドラキュラ』I & II<br>吸血鬼物語の特徴と歴史 | □ |
| 第3回 | 口承文学・民間伝承における吸血鬼 | 『吸血鬼ドラキュラ』III & IV<br>吸血鬼物語の起源 | □ |
| 第4回 | ヨーロッパ文学におけるヴァンパイア | 『吸血鬼ドラキュラ』V & VI<br>吸血鬼物語のヨーロッパにおける発展 | □ |
| 第5回 | イギリス文学における作家ブラム・ストーカー | 『吸血鬼ドラキュラ』VII & VIII<br>吸血鬼物語のイギリスにおける発展 | □ |
| 第6回 | 大英帝国におけるドラキュラ | 『吸血鬼ドラキュラ』IX & X<br>英国史と吸血鬼 | □ |
| 第7回 | 大英帝国の植民地アイルランドと吸血鬼 | 『吸血鬼ドラキュラ』XI & XII<br>帝国主義と吸血鬼 | □ |
| 第8回 | 現代における身近な吸血鬼／ヴァンパイア物語 | 『吸血鬼ドラキュラ』XIII & XIV<br>吸血鬼表象の発展と世界規模の広がり | □ |
| 第9回 | 「批評理論」とは何か | 『吸血鬼ドラキュラ』XV & XVI<br>吸血鬼物語が持つ隠れた意味 | □ |
| 第10回 | 精神分析学的批評 | 『吸血鬼ドラキュラ』XVII & XVIII<br>吸血鬼物語が表象する人間の欲望 | □ |
| 第11回 | ジェンダー・セクシュアリティ批評 | 『吸血鬼ドラキュラ』XIX & XX<br>吸血鬼物語が表象する社会問題 | □ |
| 第12回 | ポストコロニアル批評 | 『吸血鬼ドラキュラ』XXI & XXII<br>吸血鬼物語が表象する社会問題 | □ |
| 第13回 | 「アダプテーション」とは何か | 『吸血鬼ドラキュラ』XXIII & XXIV<br>ドラキュラ以降の吸血鬼物語の発展 | □ |
| 第14回 | 吸血鬼とポストモダン | 『吸血鬼ドラキュラ』XXV & XXVI<br>増殖するヴァンパイアと現代社会 | □ |
| 第15回 | まとめ | 『吸血鬼ドラキュラ』XXVII<br>最終レポートについて | □ |

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

＜予習＞テキストをあらかじめ読み進め、感想と自分なりの解釈を考える。（２時間程度） 身近な現代において、吸血鬼に関するテーマを扱った作品を見つける。 ＜復習＞授業で使用した配布資料・講義内容をもとに情報を整理し、知識を定着させる（１時間程度） 授業で紹介した資料を検索して閲覧するなど、発展的な学習をする（１時間程度）

**■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)**

毎回授業の最初に、前回の授業で出題したクイズの答え合わせと、履修者からの質問・感想を紹介しながら全体的なフィードバックを行う。

**■授業の到達目標と評価基準(Course goals)**

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents) |
|---|---|---|
| 知識・技能 | ◆ 2019全学共通DP1 | イギリス文学の基礎となる社会・文化・歴史を世界地図を念頭に置いた広い視野で概観できる<br>ドラキュラを中心とする吸血鬼物語の発展について、起源から順を追って説明できる<br>吸血鬼物語に反映された社会問題や人間の本質的欲望を読み解くことができる<br>新たに生まれつつある吸血鬼物語について、過去のものと比較した上で特徴を挙げることができる |

**■成績評価(Evaluation method)**

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験（in-class exam) | その他(Other) |
|---|---|---|---|---|
| | | 50% | 50% | |

**授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)**

毎回授業の最後に、Microsoft Teamsから授業内容に関するクイズに解答し、授業についての質問・感想を投稿する。

**■テキスト(Textbooks)**

| No.(No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|---|---|---|
| 1 | ブラム・ストーカー『吸血鬼ドラキュラ』平井呈一訳（創元推理文庫） | 4488502016 |
| 2 | レ・ファニュ『吸血鬼カーミラ』平井呈一訳（創元推理文庫） | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

**■参考図書(references books)**

| No.(No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|---|---|---|
| 1 | 丹治愛『ドラキュラ・シンドローム：外国を恐怖する英国ヴィクトリア朝』（講談社学術文庫） | 4065338301 |
| 2 | 映画『インタビュー・ウィズ・ヴァンパイア』（ワーナー・ホーム・ビデオ） | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |